

所沢市立上山口中学校 学校だより



薫れ青春

令和5年5月2日 第2号

校長 小山 義昭

校訓「自主自律」
学校教育目標
○自ら学ぶ生徒
○心豊かな生徒
○言動に責任を持つ生徒
○健康でたくましい生徒

令和5年度、学校生活がスタートし約1ヶ月が経ちました。生徒のみなさんは、新しいクラスや生活に慣れてきたことと思います。学年目標や学級目標、当然ですが学校教育目標という様々な目標が掲げられていますが、「絵に描いた餅」にならないように、小さなステップでいいので、達成のための努力・実践をしていきましょう。



本校の1日は、全校での朝読書から始まります。(部活動の朝練習もありますが。)様子を見ているととても静かに読書しています。皆さんと、さらにステップアップするために再度朝読書の意義を考えていきます。

朝読書の始まった経緯は、千葉県的女子高校で、子どもたちの心の荒れ方を憂い、心の落ち着きを取り戻したうえで一日のスタートを切ろうと、二人の先生の強い提唱と実践で始まったそうです。静かに読書をする、気持ちが落ち着き授業にも集中し始めたということです。「朝の読書」により、わずかな時間でも、毎日続けることで読書が好きになり、豊かな心を育み、読解力など学力向上のほか、生徒の問題行為が解消されるといった効果が生まれたそうです。

また、朝に読書するメリットを3つ紹介します。(これはHPを見ていると、情報がとても多くあります。その中の例です。)

- ① 新しい知識・情報が入りやすい。(朝は、夜の睡眠で脳内がリセットされた状態。)
- ② 新しい発想が生まれやすい 効率良くインプットができると同時に、新しい発想やアイデアも朝の方が出やすい。
- ③ リフレッシュできる(一日の始まりに、好きな本を読む。) など……

実際に、『朝の読書』が定着した学校では、「本を読まなかった子が読書好きになった」「読書することで子どもたちに落ち着きが出てきた」「読解力がついた」「語彙が豊かになった」「遅刻やいじめが少なくなった」「他人をおもいやる気持ちが出てきた」などの様々な効果があるようです。では、本校ではどうでしょうか？ 皆さんは実感していますか？

「朝の読書」を実施するにあたっては、「朝の読書4原則」があります。

- ① 「毎日やる」 ⇒ 習慣づけ
- ② 「自分の読みたい本を読む」 ⇒ 自分で決める自由
- ③ 「みんなで読む」 ⇒ 全員で同じ空間・時間に
- ④ 「ただ読む」 ⇒ 読書の楽しさを味わうことを大切に！



朝読書開始には、自分で用意した本だけが机にあり、その他(筆箱や水筒・カバン・制服など)のものがない状態で、読書に勤しむようにしていきましょう。そのために早く着席し準備しましょう。

保護者会ありがとうございました

4月14日(3年、7組)4月18日(1年、2年)の2日間に保護者会を開催させていただきました。お忙しい中、多くの保護者の方へ出席いただきましてありがとうございました。また、各クラスのPTA役員を選出をしていただきました。



挨拶として話をさせていただいたことは、入学式・始業式で生徒・保護者に向けて話をした内容です。生徒には、

- ① 夢を持ち、その夢を実現させるための「目標」を掲げ、努力する生徒として、卒業の時には「自分は成長した」といえる中学校生活を送ってほしいということ。
- ② 命を大切にしてほしいということ。

どちらも辛い時、苦しい時には誰かに相談することが大切だという話をしました。

保護者の皆様には、

- ① 家庭と学校が同じ方向を向いていきましょう。
- ② 生活習慣を家庭で身につけられるようしていきましょう。

どちらも学校と家庭が協力しながら、生徒の成長を見守ることが大切だと思います。

1年間よろしくお願いたします。

5月（皐月）の予定

2日	火	全校朝会 全校二者相談(~11)
9日	火	学年朝会
10日	水	あいさつ運動 通信陸上
11日	木	耳鼻科検診
12日	金	専門委員会
13日	土	学校公開 部活動保護者会 P T A総会・後援会総会（書面）
15日	月	振替休業日

16日	火	県学力・学習状況調査(1年)諸活動停止
17日	水	県学力・学習状況調査(2年)
18日	木	県学力・学習状況調査(3年)
22日	月	火曜日課 12456
23日	火	定期テスト
24日	水	定期テスト 地区別下校
25日	木	中央委員会
30日	月	生徒会朝会 内科検診 3年SU調査
31日	火	生徒総会

※現時点の予定になります。状況によっては、急な変更があるかもしれません。

入学式を終えて・・・

歓迎の言葉および新入生代表の言葉、ともに素晴らしい言葉ですね。(途中省略したり文を短くしたりした箇所があります)

歓迎のことば

(略) 今日から始まる中学校生活には、皆さんにとって今まで経験したことのないものが沢山あります。私たち在校生一同は少しでも早く、新しい中学校生活に慣れられるよう、皆さんをサポートしていきます。どんな時でも私たちを頼ってください。

中学校生活について紹介します。

- 1) 学習面において、教科担当制と授業一コマ五十分になる。
 - ・定期テストの実施。さらに、提出課題が増える。
- 2) 部活動は学校生活の中で大きなウェイトを占める。
 - ・学級を超えた幅広い人間関係づくり。目標達成のための組織。
- 3) 「体育祭」「合唱コンクール」などの大きな学校行事。
 - ・協調性を身につけたり、仲間の良さに気づいたり、連帯感を味わえる。

今紹介したことは、全て上山口中学校の校訓「自主自律」に基づいています。自ら学び、心豊かに生活し、言動に責任を持ち、健康でたくましい生徒であるために、上中生が心に刻んでいる言葉です。

皆さんは、今後三年間で多くの出会いと別れを通して、様々な経験を積むことでしょう。喜びや楽しみ、悩みや苦しみのすべての機会が人として成長させてくれます。皆さんには、どんな時でも前向きでいてほしいです。もし、くじけそうになったり心が折れそうになったりした時は一度立ち止まり、好きなことをしましょう。読書でも遊びでもゲームでもなんでも良いです。大事なものはメリハリをつけて切り替えることです。私自身も疲れた時は休みます。その代わりに、やるべきことはしっかりとやり、後悔のないように努めています。今、自分が頑張っていること、続けていること、やろうとしていることが将来の自分にどのように影響を与え、どのように成長させてくれるかを想像すると、きっと物事に対して前向きになれるはずですよ。(後略)

(在校生代表)

新入生代表のことば

(略) 私は、これからの中学校生活の中で、頑張りたいことが3つあります。

一つ目は勉強です。中学校になると、教科が増え、内容も難しくなり、定期テストが行われるようになるため、小学校の時よりも、集中して取り組んでいきたいです。

二つ目は部活動です。私はまだ何部に入るか決めていないので、体験入部で先輩方が生き生きと部活に励んでいる姿を参考にして、3年間頑張れる部活に入りたいと思います。

三つ目は友達作りです。初めて話す子たちもたくさんいるので、新しい友達の輪を広げられるよう頑張りたいです。この三つを頑張って、充実した中学校生活を過ごせるようにしたいです。

今日から始まる中学校生活の様々な経験を通して成長していけるように、何事にもこつこつ一生懸命取り組んでいきますので、先生方厳しくも温かいご指導をよろしくお願いいたします。

(新入生代表)